

知事コメント

令和3年1月22日(金)

沖縄県では、本日新たに103人の新型コロナウイルスの新規感染者が確認され、直近1週間の新規感染者数は652人、人口10万人あたり新規感染者数は44.75人となり、夏場の大流行期を越えるという状況になっております。

また、昨日、県内で陽性が確認され、入院に向けてご自宅で調整を行っていた方が、その後、容体が急変しお亡くなりになったという報告を受けております。本日までに90名の方がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみを申し上げます。

去る1月19日に沖縄県緊急事態宣言を発出し、不要不急の外出自粛や営業時間の短縮等を要請させていただいているところです。感染の拡大が続くのか、収束に向かうのかは、県民の皆さまがいかにかこの対策についてご理解いただき、しっかりと協力していただくかにかかっております。

本日から、夜8時までの営業時間短縮要請の期間がスタートします。是非、全ての対象店舗が、営業時間短縮にご協力いただきたいと願っております。

県としましては、緊急事態宣言の期間中、対策の実効性を高めるため、各市町村や地域の商工会など各関係団体の協力を得て、県内全域で毎日、見回り活動を展開いたします。ご協力いただく各機関に感謝申し上げます。よろしく申し上げます。

また、長引く新型コロナの流行で、観光関連産業を中心とする本県の経済は、大きな影響を受けています。

落ち込んだ県民経済を回復へと歩みを進めていくためには、新型コロナの感染拡大をこの緊急事態宣言期間中にしっかり抑え込むことに加えて、特定都道府県と同様の財政支援策が重要となると考えております。

この間、県は政府と緊密に連携して取り組んできたところですが、本日、政府に対して特定都道府県の指定、または特定都道府県に準ずる措置を講じる地域として新型コロナの影響

響を受けている医療機関及び事業者へのさらなる支援等を求める要請書を発出することといたしました。

政府におかれましては、本県の深刻な感染状況や、隣り合う県との医療的な連携が容易ではない島しょ県であることの不利性、先ほどクラーディ四軍調整官とも電話で意見交換させていただいたところですが、米軍基地内の感染増加が県民に与える影響を考慮していただきたいと考えております。

沖縄は、「いちゃりばちょーで一」や「ゆいまーる」という言葉に代表されるように、人と人との距離が近く、世代をこえた交流が活発な島です。今こそ、その人と人との繋がりを生かして、感染対策の必要性を、そして協力への呼びかけを、先輩から後輩へ、職場の上司から部下へ、友達から友達へ、孫からオジーオバ一へ、伝え、拡げてまいりましょう。

休職中または離職中の看護師の皆さま、医療の現場では今後も人材が不足することが見込まれます。是非皆さまのお力をお貸しいただければと思います。非コロナ病床での勤務も含めてご協力いただける方は、沖縄県ナースセンター098-888-3127・3128までご連絡ください。

今回の緊急事態宣言は、本県にとって非常手段となります。非常手段も、皆の協力が無ければ、効果は限定的なものになってしまいます。

何度も申し上げますが、何としてもこの感染を抑え込むため、皆で一致団結して、毎日のマスクの着用・うがい・手洗い、3密の回避などの「新しい生活様式」を実践し、新型コロナに「うつらない」、「うつさない」、医療機関を「潰さない」ための努力を、協力を、お互いの支え合いを、心からよろしくお願いします。

令和3年1月22日

沖縄県知事 玉城 デニー